

各プロジェクトのゲスト紹介

寺田浩之

(KOKOPELLI+代表)

1980年生まれ、東京都江東区出身。都市部を中心に、地域の人たちが身近な生き物や環境のことを学ぶ自然体験やワークショップを企画・実施している。自然環境の調査会社や理科実験教室の講師、自然体験活動を行うNPOの職員などを経て、環境学習や自然の調査を行う会社「KOKOPELLI+」を設立。コンセプトは「ヒトと自然をもっと近くに」。



廣瀬俊介

(風土形成事務所・主宰)

ランドスケープデザイナー、専門地域調査士(認定機関:日本地理学会)、日本景観生態学会会員。千葉県市川市生まれ。2019年栃木県益子町に移住。風景/景観と風土の研究の上に、地域の自然に人間が働きかけて風土が形成されることの一環となるランドスケープデザインを探究する。



山本愛子(美術家)

1991年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了(2017)。ポーラ美術振興財団在外研修員として中国にて研修(2019)。これまでアジアを中心とした国内外で、自然環境と染織技術にまつわるフィールドリサーチと滞在制作を行ってきた。そこから見えてくる土着性や記憶の在り処を主題とした作品を制作している。



安田陽一(日本大学理工学部土木工学科教授)

1963年東京生まれ(江戸っ子)日本大学大学院理工学研究科を修了し、大学教員として36年目。局所的な流れの基礎研究を行い、学位ならびにアメリカ土木学会で3回受賞、その間、魚道、河川環境に携わり、現在に至る。北海道から沖縄まで縦断して魚道、河川などの技術指導を行っている。



前田瑞貴

(箱根植木株式会社)

箱根植木株式会社にて、生物多様性に配慮した地域性種苗による緑化を担当する。多摩川流域の自然を再現した二子玉川ライズの屋上緑地や、東京湾産の干潟植物を使用した竹芝干潟の植栽、維持管理に携わる。



安藤隆一郎(染色作家)

1984年京都生まれ、京都在住。2009年京都市立芸術大学大学院工芸科染織専攻修了。現在、同大学染織専攻准教授。2016年より〈身体0ベース運用法〉を始動し、展覧会やワークショップを通して染織工芸の「ものづくりの視点」を通じた「身体」の可能性を伝える。2021年より、京都府亀岡市を拠点に不要民具を救出し、活用するプロジェクト「民具 BANK」を立ち上げ、地域に伝わってきた「身体」を見出すことを試みる。



各プログラムの詳細やお申込みは
ウェブサイトをご確認ください。

申し込みはこちら



ウェブサイト



主催:一般社団法人釜川から育む会
助成:公益財団法人 福武財団
後援:宇都宮市
協力:釜川プロムナード整備協議会、カマクリ協議会、
ビルトザリガニまちづくり合同会社

photo:KOSUGI Takuya



釜川クロッシング!

「釜川クロッシング!」は、栃木県宇都宮市を流れる釜川流域を舞台に、アートを通じて釜川の生物多様性やまちの特性を学ぶアートプロジェクトです。アーティストをはじめ様々な専門知識を持った人々と協働し、地域資源の魅力を発見・体験することを目指します。釜川の自然環境を体験するワークショップや、地域の歴史や文化について考えるトークイベントや展覧会を開催します。

生き物を知る

ワークショップ

親子参加OK

釜川にビオトープをつくろう！ まちなかで釣り生き物調査！

日程：10月19日〔土〕10:00～12:00

集合場所：KAMAGAWA POCKET
(栃木県宇都宮市二荒町8-15)

定員：20名

対象：小学生（必ず保護者同伴）

参加費：500円/名

ゲスト：寺田浩之、安田陽一

釜川が様々な生き物にとって暮らしやすい環境となることを目指して、石積みによるビオトープを作ります。ワークショップではビオトープを設置するだけでなく、釣りをしながら生物調査をすることで、身近な自然環境の生態系についても学んでいきます。



草木を知る

ワークショップ

親子参加OK

釜川の植物でたたき染め！ ブックカバーをつくろう！

日程：11月23日〔土〕10:00～12:00

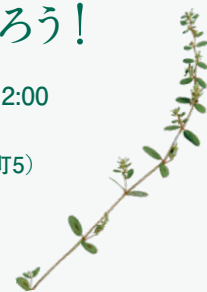
集合場所：ふれあい広場
(栃木県宇都宮市曲師町5)

定員：20名

参加費：1000円/名

ゲスト：前田瑞貴、山本愛子

植物の専門家とアーティストと共に、釜川周辺で採取された植物を使って、たたき染めでブックカバーを作ります。釜川の植生について学びながら、自然から生まれる色で表現することをお楽しみください。



風景を知る

トークイベント

“流域”から釜川の風景と 文化を考える

日程：10月20日〔日〕13:00～15:00

会場：のんき跡地（栃木県宇都宮市中央本町1-8）

定員：15名

参加費：無料

ゲスト：廣瀬俊介

釜川は農業をはじめ、宇都宮城の外濠や宮染めにも活用されるなど、古くから人間の生活を支えてきました。釜川の成り立ちや風景の変化に目を向けることで、釜川流域で育まれてきた人と環境、環境とものづくりの関係について考えていきます。



釜川を知る

アーティスト・イン・レジデンス

釜川AIR 2024 安藤隆一郎（身体0ベース運用法）

日程：2025年2月

会場：KAMAGAWA POCKET ほか

入場料：無料

ゲスト：安藤隆一郎

安藤隆一郎は染色作家であり、近年は地域文化や民具、ものと身体の関りなどをテーマにしたアートプロジェクトも展開するアーティストです。2024年夏から宇都宮に滞在し、釜川流域の自然環境や文化の研究を通じて2025年2月に成果発表を予定。

